



一般社団法人 日本遠隔医療学会

令和 7（2025）年度（第 15 期）定時総会 議案書

第 1 号議案	令和 6 年度(第 14 期) 事業報告
第 2 号議案	令和 6 年度(第 14 期) 決算・監査報告
第 3 号議案	令和 7 年度(第 15 期) 事業計画
第 4 号議案	令和 7 年度(第 15 期) 予算
第 5 号議案	理事選任の件

開催場所 東京都文京区湯島 3-6-1 全国家電会館 1F 大会議室

開催日時 2025 年 6 月 14 日（土） 13:00～14:00

オンライン参加（ZOOM） トピック：JTТА 総会

時刻：2025 年 6 月 14 日 13:00 大阪、札幌、東京

<https://us02web.zoom.us/j/83942834700?pwd=08dhix9ar57yHhsA8pRWDFnhwGso8D.1>

ミーティング ID: 839 4283 4700

パスコード: 1111

*** 関連日程 ***

編集委員会 6 月 14 日（土）10：30～12：00

新任理事会 6 月 14 日（土）14：15～14：45

運営会議 6 月 14 日（土）15：00～16：45

懇親会（ホテル江戸屋・古拙）

6 月 14 日（土）17：00～19：00

第 1 号議案 令和 6 (2024) 年度 (第 14 期) 事業報告

I 学術活動

1. 日本遠隔医療学会雑誌 (機関誌) の発行

(1) 発行実績

令和 6 年度は 3 冊の日本遠隔医療学会雑誌第 20 巻を発行した。

日本遠隔医療学会雑誌 第 20 巻 1 号 令和 6 年 6 月 650 部

主な掲載内容 論文 原著(1)、総説(1)
報告 JTTA2023 学術大会開催報告、
委員会報告(3)、分科会報告(21)

日本遠隔医療学会雑誌 第 20 巻 2 号 令和 6 年 10 月 650 部

主な掲載内容 論文 短報(1)、JTTA2024 学術大会 A 演題(7)
報告 2024 年度定時総会開催報告(議案書)

日本遠隔医療学会雑誌 第 20 巻補刊号※ 令和 7 年 3 月 650 部

主な掲載内容 JTTA2024 学術大会発表抄録
一般演題 (B 演題) (32)、企画演題(55)
SC2024 発表抄録
一般演題(4)、企画演題(11)

(2) 編集委員会

編集委員会の名簿は以下のとおり。(2025 年 4 月現在・五十音順)

委員長	森田 浩之	岐阜県総合医療センター
委員	大山 太	東海大学
	木ノ内 玲子	旭川医科大学
	酒巻 哲夫	NPO 法人日本遠隔医療協会
	鈴木 亮二	高崎健康福祉大学
	東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学
	長谷川 高志	NPO 法人日本遠隔医療協会
	真原 仁	鴨川市立国保病院
	山田 桃子	独立行政法人国立病院機構 渋川医療センター

2. 第 28 回日本遠隔医療学会学術大会 JTTA2024 OKAYAMA の開催

会期 2024 年 11 月 9 日 (土) ~10 日 (日)

会場 岡山市 岡山コンベンションセンター

大会長 笠原 真悟 (岡山大学)

テーマ スマートな社会の実現に向けての遠隔医療

※実施報告は本会雑誌 21 巻 1 号に掲載した。

3. JTTA Spring Conference 2025 の開催

期日 令和 7 (2025) 年 2 月 8 日 (土) ～2 月 9 日 (日)

会場 東京・全国家電会館 5F 講堂

プログラム

特別企画Ⅰ 「社会保険委員会・普及委員会報告」

特別企画Ⅱ 「デジタルセラピューティクス」

シンポジウム 「医療と介護を包むサイバーセキュリティ」

「PHR 推進を考える」

AMED 研究事業報告 2 セッション

一般演題 3 セッション 8 演題

参加者数 58 人

4. 医療 DX 第 1 回研修会

(1) 準備活動

第 1 回医療 DX・資格認定・研修に関する検討会を合宿形式で実施した。

日時 2024 年 6 月 15 日 (土) ～16 日 (日)

場所 大学セミナーハウス・記念館 (八王子市)

移動方法 2024 年度定時総会及び運営会議終了後に、貸切バスで移動した。

参加者 18 名 (内、宿泊 17 名)

2024 年 11 月 8 日の運営会議で第 1 回研修会の概要を決定した。

(2) 第 1 回研修会の実施

テーマ クリニック、小規模な医療・介護事業所のサイバーセキュリティ

期日 令和 7 (2025) 年 3 月 23 日 (土)

会場 東京都文京区湯島 全国家電会館 及び WEB 開催

参加費 現地参加 7,000 円、WEB 参加 5,000 円

プログラム

司会 鈴木 亮二 (高崎健康福祉大学)

講義 1 「オリエンテーション」 長谷川高志

講義 2 「オンライン診療の実施施設の取り組み」 山下巖

講義 3 「少し詳しいサイバーセキュリティ入門」 近藤博史

参加者数 42 人

5. 第 44 回医療情報学連合大会 (福岡) JTTA—JAMI 共同シンポジウム

シンポジウム「保険収載された遠隔医療分野の現状と将来」

2024 年 11 月 23 日 (土) 16 時～18 時

6. 第 44 回医療情報学連合大会 (福岡) CISSMED 企画シンポジウム

企画シンポジウム 2024 年 11 月 22 日（金）14 時 20 分～16 時 20 分

「医療分野におけるサイバーセキュリティ情報共有組織 CISSMED の活動と課題」

7. 第 83 回日本公衆衛生学会 共同シンポジウム

メインシンポジウム 4（日本遠隔医療学会共催）

「遠隔医療が拓く地域医療」

日時： 2024 年 10 月 31 日（木） 9:00～10:35

座長： 竹内 公一（千葉県松戸保健所・松戸健康福祉センター）

大西 浩文（札幌医科大学医学部公衆衛生学講座）

演者： 遠隔医療のこれまでの流れと今後の方向

長谷川 高志（特定非営利活動法人日本遠隔医療協会）

コロナ禍の経験からへき地医療政策に医療 DX をどう組み合わせるのか

原田 昌範（山口県立総合医療センター）

テレナーシング・テレヘルスが切り拓く新たな在宅ケア支援と担い手の育成

亀井 智子（聖路加国際大学）

遠隔医療が進める医療 DX とサイバーセキュリティの鍵は「統合」

近藤 博史（協立記念病院・日本遠隔医療学会）

II 委員会・分科会および社会貢献活動

1. 社会保険委員会

内保連（一般社団法人内科系学会社会保険連合）に長谷川高志（常務理事・社会保険委員長）が内保連・遠隔医療関連委員会・副委員長として活動した。

詳細報告は、本会雑誌 20 巻 1 号に掲載した。

2. 普及委員会

JTTA Spring Conference 2025 を主催し、開催した。

3. 編集委員会

（1）本会機関誌 20 巻を編集し発行した。印刷製本は引き続き、（株）開文社印刷所に委託した。

（2）論文査読の支援業務を当年度も引き続き、（株）ポラリスセクレタリーズオフィスに委託した。

（3）新投稿システムを運用し、学会誌掲載論文、JTTA2024 及び SC2025 演題募集に利用した。このシステムの運用支援は（株）klar に委託した。

（4）JTTA2024 の A 演題の査読を実施し、優秀論文 1 篇を選定にした

（5）電子ジャーナル化及び本会雑誌掲載論文の公開機会を増やす取り組みとして、メディカルオンラインとの契約の検討を進めている。

4. 広報委員会

2024 年 8 月に、広報委員会規則が定められ、広報委員会が発足した。委員は以下の通り。

委員長 郡 隆之

委員 近藤 博史、鈴木 亮二、東福寺 幾夫、長谷川 高志、松本 浩樹

5. 選挙管理委員会

2021 年選出の幹事会員が任期満了となるため、2025 年選挙要項を定め、それに従い活動した。

2025 年 2 月 理事会推薦幹事会員決定、選挙実施要項決定

2025 年 3 月 選挙公示、有権者確定、有権者宛て選挙要項等発送

6. 禁煙推進学術ネットワークへの加盟、委員派遣

禁煙学術ネットワークにおける議論に参加した。

「第 7 回禁煙推進学術ネットワーク学術会議」大会長に本会の長谷川高志委員が指名され、開催準備活動をスタートした。大会要項は、以下の通り。

(1) 大会長 長谷川高志 (本ネットワーク理事及び日本遠隔医療学会委員)

田淵貴大 (本ネットワーク理事及び日本公衆衛生学会委員)

三浦雅彦 (本ネットワーク理事及び日本口腔腫瘍学会委員)

(2) 日時・場所 2025 年 10 月 4 日 (土) 10:00-16:00・全国家電会館 (東京都文京区)

7. 分科会の活動

以下の 21 の分科会が、活動報告書を提出した。活動報告は本会雑誌第 21 巻 1 号に掲載した。

1. テレナーシング分科会 (SIG Telenursing)

亀井 智子 聖路加国際大学大学院看護学研究科

2. デジタル療法・治療用アプリ分科会 (SIG Digital Therapeutics / Digital Therapy)

佐竹 晃太 日本赤十字社医療センター／CureApp Institute

3. 血液内科遠隔医療分科会 (SIG Remote Hematology)

西川 彰則 和歌山県立医科大学附属病院

4. 遠隔 ICU 分科会 (Tele-ICU SIG)

高木 俊介 横浜市立大学付属病院 集中治療部

5. オンライン服薬指導分科会 (SIG Online Medication Instruction)

狭間 研至 ファルメディコ株式会社

6. 歯科遠隔医療分科会 (SIG Teledentistry)

長縄 拓哉 ムツー株式会社

7. 遠隔医療の法規整等制度分科会 (SIG Legal System of Telemedicine)

東福寺 幾夫 高崎健康福祉大学

肥塚 肇雄 早稲田大学法学学術院

8. へき地遠隔医療分科会 (SIG Rural Telemedicine)

原田 昌範 山口県立総合医療センターへき地医療支援センター

9. 腫瘍内科遠隔医療分科会 (SIG Telemedicine in Medical Oncology)

砂川 優 聖マリアンナ医科大学 腫瘍内科

10. 在宅見守り支援分科会 (SIG Home Telecare)

鈴木 亮二 高崎健康福祉大学

11. 呼吸器遠隔医療分科会 (SIG Respiratory Medicine)

權 寧博 日本大学医学部 内科学系呼吸内科学分野

12. 精神科遠隔医療分科会 (SIG Telepsychiatry)

岸本 泰士郎 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

13. 市民に遠隔医療をやさしく学んでもらう分科会 (SIG Telemedicine Education for Citizens)

大木 里美 遠隔医療をとことん考える会

14. オンライン診療分科会 (SIG of Online Medicine)

黒木 春郎 医療法人社団嗣業の会 こどもとおとなのクリニック「パウルーム」

15. 国際医療分科会 (SIG Video Remote Medical Interpreting)

瀧澤 清美 NPO 法人地域診療情報連携協議会

16. オンラインバイタルモニタリング分科会

(SIG Guidelines for Telemonitoring Devices from Patient's Home)

中村 昭則 NHO まつもと医療センター

17. 循環器における在宅医療分科会

笠原 真悟 岡山大学 心臓血管外科

18. 周産期医療分科会 (SIG Perinatal Telemedicine)

鈴木 真 社会医療法人友愛会 健康管理センター

19. DtoD 遠隔専門医相談システム分科会 (SIG Doctor to Doctor e-Consultation)

山田 裕揮 株式会社 Medii

20. 睡眠遠隔医療分科会 (SIG Sleep Telemedicine)

千葉 伸太郎 医療法人愛仁会 太田睡眠科学センター

21. 遠隔医療基盤検討分科会 (SIG Infrastructure of Telemedicine)

近藤 博史 協立記念病院

以下、報告書未提出

22. 皮膚科遠隔医療分科会 (SIG Tele dermatology)

吉崎 歩 東京大学大学院 皮膚科学

III 国際交流活動

1. ISfTeH メンバーシップの維持

2024 年に引続き、2025 年の National Member の継続手続きを行い、Member Ship を維持した。

2. フィンランドとの交流

1. フィンランドへの本会からの派遣

派遣者 近藤博史会長、鈴木亮二理事

派遣期間 2024 年 5 月 5 日～10 日

派遣先 フィンランド、Oulu 市

2. フィンランドからの招聘

招聘者 Prof. Reponen (Oulu 大学)

招待期間 2024 年 11 月 7 日～12 日

招聘目的 ①2019 年近藤理事長、坂田理事の eHealth Conference 招待講演の返礼
②JTTA2024 岡山での講演依頼
③京大病院の供覧

3. JICA 研修への講師派遣

2025 年 1 月に JICA が実施した研修会開催に協力し、講師を派遣した。

III 学会組織の運営

1. 幹事会員半数の改選準備

2024 年度末で任期満了となる幹事会員の改選のための選挙準備を進めた。

2. 役員、幹事会員および運営会議議員名簿

令和 6 (2024) 年度の役員、幹事会員、運営会議議員名簿は以下の通り。

1) 役員

理事 (10 名、任期 2025 年度定時総会終了時まで)

氏名	所属	役職
近藤 博史	協立記念病院	代表理事・会長
森田 浩之	岐阜大学大学院医学系研究科総合病態内科学分野	副会長
東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科	専務理事・事務局長
長谷川 高志	特定非営利活動法人日本遠隔医療協会	常務理事
郡 隆之	利根中央病院	常務理事
笠原 真悟	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科心臓血管外科	
黒木 春郎	医療法人社団嗣業の会こどもとおとなのクリニック パウルーム	
佐竹 晃太	日本赤十字社医療センター呼吸器内科／株式会社 CureApp	
鈴木 亮二	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科	
本間 聡起	埼玉医科大学医学部医学教育センター／慶應義塾大学看護医療学部	

監事 (任期 2026 年度末まで)

吉井 宏文 吉井宏文税理士行政書士事務所

2) 幹事会員 (15 名、任期 2024 年度末まで、お名前のみ)

芦原 貴司、小笠原 敏浩、近藤 博史、坂田 信裕、佐竹 晃太、清水 周次、高木 俊介、
中村 昭則、野村 章洋、原田 昌範、本間 聡起、真原 仁、森山 智彦、山田 桃子、
米澤 麻子

3) 幹事会員 (15 名、任期 2026 年度末まで、お名前のみ)

大山 太、笠原 真悟、亀井 智子、黒木 春郎、郡 隆之、鈴木 亮二、竹内 公一、東福寺 幾夫、富田 康弘、長谷川 高志、松本 浩樹、村上 礼子、森田 浩之、吉崎 歩、吉嶺 裕之

4) 運営会議議員 (53 名、任期 2024 年度末まで、お名前のみ)

芦原 貴司、大西 丈二、大林 克巳、大山 太、小笠原 敏浩、岡田 宏基、尾形 優子、笠原 真悟、加澤 佳奈、亀井 智子、岸本 泰士郎、木ノ内 玲子、樽松 八平、黒木 春郎、郡 隆之、児玉 直樹、近藤 博史、坂田 信裕、酒巻 哲夫、佐竹 晃太、清水 周次、鈴木 亮二、砂川 優、高木 俊介、高橋 裕子、瀧澤 清美、竹内 公一、東福寺 幾夫、富田 康弘、長縄 拓哉、中西 智之、中村 昭則、西川 彰則、野村 章洋、狭間 研至、長谷川 高志、原 量宏、原田 昌範、福島 明宗、本間 聡起、松本 浩樹、真原 仁、村上 礼子、森 一郎、森田 浩之、森山 智彦、山下 巖、山田 裕揮、山田 桃子、吉井 宏文、吉崎 歩、吉嶺 裕之、米澤 麻子

3. 総会の開催

令和 6 年度定時総会は、ハイブリッド方式で開催した。

- (1) 方式 対面及び定款第 21 条による電磁的手段を併用
- (2) 期日 令和 6 (2024) 年 6 月 15 (土) 13:00~13:45
- (3) 場所 全国家電会館 5F 講堂 (東京都文京区湯島 3-6-1)
- (4) 議案

- 第 1 号議案 令和 4 年度(第 12 期) 事業報告
- 第 2 号議案 令和 4 年度(第 12 期) 決算・監査報告
- 第 3 号議案 令和 5 年度(第 13 期) 事業計画
- 第 4 号議案 令和 5 年度(第 13 期) 予算
- 第 5 号議案 定款の改訂

(5) 審議参加状況

議決権のある社員総数	30 名 (議決権の数 30 個)
出席社員数	27 名 (議決権の数 27 個)
現地参加	14 名
オンライン参加	7 名
委任状提出	6 名

出席理事 (オンライン出席を含む)

近藤博史 (議長兼議事録作成者)、森田浩之、東福寺幾夫、長谷川高志、郡隆之、笠原 真悟、佐竹 晃太、鈴木亮二、本間聡起

欠席理事 黒木 春郎

出席監事 吉井 宏文

(5) 審議結果

全ての議案につき、満場異議なく、承認可決した。

4. 理事会の開催

理事会は以下のとおり 4 回開催した。

【第 1 回理事会】

開催方法	現地・オンラインのハイブリッド方式
日時・場所	2024 年 4 月 21 日（日）・全国家電会館
審議事項	1) 2024 年度定時総会議案書について 2) 入会退会規則の改定について 3) 運営会議審議事項について 4) 近藤会長他フィンランド出張について
理事出席状況	6 名現地出席、3 名オンライン出席、1 名欠席

【第 2 回理事会】

開催方法	現地・オンラインのハイブリッド方式
日時・場所	2024 年 6 月 15 日（土）11：00～12：00・全国家電会館
審議事項	1) 2024 年度定時総会議案書について 2) 入会退会規則の改定について
理事出席状況	7 名現地出席、1 名オンライン出席、2 名欠席

【第 3 回理事会】

開催方法	現地・オンラインのハイブリッド方式
日時・場所	2024 年 12 月 7 日（土）13：00～14：00・全国家電会館
審議事項	1) メディカルオンライン利用契約について 2) 役員登記について 3) 大会準備金の金額見直しについて 4) 委員会組織・メンバーの見直しについて 5) 第 1 回医療 DX 研修会の実施について
理事出席状況	6 名現地出席、4 名欠席

【第 4 回理事会】

開催方法	メール審議
審議期間	2025 年 3 月 4 日（火）～3 月 7 日（金）
審議事項	1) 入会・退会規則の改定について 2) 2025 年幹事会員選挙における理事会推薦幹事会員の指名について 3) 2025 年幹事会員選挙の日程計画について
理事回答状況	10 名全員が回答

5. 運営会議の開催

運営会議は、以下のとおり 6 回開催した。

【第1回運営会議】	ハイブリッド開催
日時	2024年4月21日（日）13：00～16：30
場所	全国家電会館1F会議室（東京都文京区湯島3－6－1）
出席状況	現地参加 12名
	オンライン参加 23名
	委任状提出 8名
	欠席 1名
【第2回運営会議】	ハイブリッド開催
日時	2024年6月15日（土）14：00～15：15
場所	全国家電会館5F講堂（東京都文京区湯島3－6－1）
出席状況	現地参加 20名
	オンライン参加 18名
	委任状提出 10名
	欠席 5名（出欠未回答含む）
【第3回運営会議】	ハイブリッド開催
日時	2024年8月10日（土）15：00～17：00
場所	全国家電会館1F会議室（東京都文京区湯島3－6－1）
出席状況	現地参加 17名
	オンライン参加 18名
	委任状提出 10名
	欠席 8名（出欠未回答含む）
【第4回運営会議】	
日時	2024年11月9日（土）17：00～18：30
場所	岡山市 岡山コンベンションセンター
出席状況	現地参加 27名
	委任状提出 20名
	欠席 6名（出欠未回答含む）
【第5回運営会議】	ハイブリッド開催
日時	2024年12月7日（土）14：00～15：30
場所	全国家電会館5F講堂（東京都文京区湯島3－6－1）
出席状況	現地参加 12名
	オンライン参加 14名
	委任状提出 4名
	欠席 23名（出欠未回答含む）
【第6回運営会議】	ハイブリッド開催
日時	2025年2月9日（日）15：30～17：00
場所	全国家電会館5F講堂（東京都文京区湯島3－6－1）
出席状況	現地参加 14名

オンライン参加	15 名
委任状提出	7 名
欠席	17 名（出欠未回答含む）

6. 会員の状況

（1）令和 7 年 3 月 31 日現在会員数（全員が 2024 年度会費を納入したわけではない）

正会員	607 人（前年度末は 630 人）30 人の幹事会員を含む。
学生会員	31 人（前年度末 28 人）
購読会員	4 人（前年度末 3 人）
賛助会員※	11 社（前年度末 12 社）

賛助会員については、会費納入済みの会員数

（2）令和 6 年度新規入会者

正会員	58 人（前年度 53 人）
学生会員	7 人（前年度 10 人）
購読会員	1 人（前年度 0 人）
賛助会員	1 社（前年度 2 社）

（3）令和 6 年度退会者

本人意思	77 人（前年度 58 人）
3 年会費未納	40 人（前年度 41 人）

7. ホームページの運用

（1）ホームページのリニューアル

2024 年 8 月に新サイトに移行し、運用を開始した。

旧サイト	日本語ページ URL	http://jtta.umin.jp/index.php
	英語ページ URL	http://jtta.umin.jp/eng/index.php
新サイト	https://telemed-telecare.jp/	

日本語と英語の切り替え可能、英語は自動翻訳

（2）トップページお知らせの運用状況

- ・トップページのお知らせは、22 回掲載・更新した。
- ・トップページには学術大会 JTTA2024 及びスプリングカンファレンス SC2025 のバナーを配置し、情報提供、演題募集、参加登録の便宜を提供した。

（3）英語による情報発信

新ページでは、言語切り替え機能および自動翻訳機能を利用した英語での情報発信が可能となった。

以上。

第 2 号議案 令和 6（2024）年度（第 14 期）決算報告

1. 貸借対照表（令和 7 年 3 月 31 日現在）

資 産 の 部		負 債 の 部	
借方科目名	金額	貸方科目名	金額
	円		円
（流動資産合計）	6,938,768	（流動負債合計）	1,085,608
普通預金	5,648,314	未払金	141,608
定額貯金	400,000	前受会費	944,000
学会誌バックナンバー	728,344	短期借入金	0
備品費	162,110	資 本 の 部	
貸付金	1,027,950	前期繰越正味財産	9,776,358
		当期正味財産増加額	△ 2,895,248
資産合計	7,966,718	負債及び正味財産合計	7,966,718

※貸借対照表に関わるコメント

- （1）貸付金 JTТА2026 会場予約金。JTТА2026 実行委員会への貸付とした。
- （2）未払金 本来当年度中に支払うべき支出であるが、請求書到着遅れなどの要因で当年度中に支払いができなかった費用支出。次年度支払実施で、負債の部から抹消される。
 内容は、ISfTeH 年会費および（株）コーエイ・エージェンシーの倉庫スペース賃料。
- （3）前受会費 当年度中に納入された翌年度分の会費。
 次年度初日に当年度分会費収入に振り替え、負債の部から抹消される。

2. 財産目録（令和 7 年 3 月 31 日現在）

資 産 の 部		負 債 の 部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
（流動資産合計）	7,966,718	（流動負債合計）	1,085,608
郵貯銀行 普通口座ぱるる	2,323,380	未払金	141,608
郵貯銀行 振替口座	181,743	前受会費	944,000
群銀 高崎	0	仮受金	0
群銀高崎栄町 1	1,495,554	単期借入金	0
P a y P a l	0	負債合計	1,085,608
群銀高崎栄町 2(米子資金)	1,647,637	資 本 の 部	
定額貯金	400,000		

学会誌バックナンバー	728,344	前期繰越正味財産	9,776,358
備品費	162,110	当期正味財産増加額	△ 2,895,248
（印鑑）	19,110	負債及び正味財産合計	6,881,110
（パソコン）	143,000		
貸付金	1,027,950		
資産合計	7,966,718	負債及び正味財産合計	7,966,718

3. 収支報告書（自 令和6年4月1日、至 令和7年3月31日）

科 目	予算金額（円）	決算金額（円）	
			円
【会費収入】			
幹事会員会費収入	450,000	450,000	
正会員会費収入	5,500,000	4,696,000	
学生会員会費収入	100,000	80,000	
購読会員会費収入	40,000	10,000	
賛助会員会費収入	750,000	550,000	
過年度会員会費収入	400,000	482,000	6,268,000
【参加費収入】			
SpringConference 参加収入	1,200,000	764,400	
第1回医療DX研修会参加収入	0	203,000	967,400
【学会誌事業収入】			
学会誌別冊作成	0	0	
J T T A 論文掲載料	200,000	70,000	
学会誌バックナンバー販売	60,000	9,000	
著作権使用料	10,000	825	79,825
【その他収入】			
受取利息	20	2,942	
			2,942
経常収入合計	8,710,020		7,318,167
【事業費】			
分科会活動助成金	250,000	86,000	
医療DX検討会	1,000,000	291,720	
Spring Conference 開催費	1,200,000	1,217,729	
広報活動費	430,000	1,012,732	
会議費	700,000	877,214	
国際交流費	150,000	535,584	

表彰費	30,000	9,983	
教育研修事業費	0	838,996	
機関誌印刷費	2,600,000	1,930,500	
論文別冊印刷費	0	0	
論文査読支援業務費	600,000	432,300	
論文投稿受付システム費	165,000		
学術大会支援費	0	0	
内保連年会費	200,000	200,000	
禁煙推進学術ネットワーク年会費	100,000	100,000	
学術大会準備金	600,000	800,000	
学術大会準備金(返還)	△ 300,000	△ 300,000	
IS f TeH 年会費	75,000	75,608	8,108,366
【管理費】		0	
事務局人件費	180,000	144,700	
事務局業務委託費	180,000	224,155	
倉庫借用料	66,000	66,000	
国内旅費	150,000	239,000	
運搬通信費	500,000	636,894	
手数料	40,000	78,665	
消耗品費	150,000	420,652	
税理士報酬	330,000	330,000	
雑費	40,000	34,800	2,174,866
経常支出合計	9,436,000		10,283,232
経常収支差額	△ 725,980		△ 2,965,065
期首棚卸高	658,527	△ 658,527	
期末棚卸高	658,527	815,651	
バックナンバー廃棄損		△ 87,307	
当期正味財産減少額			△ 2,895,248
前期末正味財産			9,776,358
当期正味財産合計			6,881,110

※収支報告書に関わるコメント

(1) Spring Conference 2025 の収支について

参加費収入 (Spring Conference 参加収入に計上)	764,400 円
開催経費 (Spring Conference 開催費に計上)	1,217,729 円
内訳 抄録作成費	314,600 円
会場費	325,050 円
情報交換会	178,530 円

運営費等	399,549 円
収支差額	- 453,329 円
(2) 第1回医療 DX 研修会の収支について	
参加費収入 (第1回医療 DX 研修会参加収入に計上)	203,000 円
開催経費 (教育研修事業費に計上)	780,334 円
内訳 準備広報費	476,114 円
当日運営費	214,940 円
講師スタッフ旅費	43,740 円
収支差額	- 577,334 円
(3) 国際交流費について	
支出合計	535,584 円
2024 年 5 月 近藤・鈴木フィンランド出張立替金及び国内旅費等清算	117,031 円
2024 年 11 月 Prof. Reponen 招聘旅費滞在費等	418,553 円
(4) 学術大会準備金・貸付金について	
2024 年 4 月 JTTA2024 実行委員会へ送金	300,000 円
2025 年 1 月 JTTA2024 実行委員会より返金	300,000 円
2025 年 3 月 JTTA2026 会場予約金支払	1,027,950 円
2025 年 3 月 JTTA2025 実行委員会へ送金	500,000 円
(5) 消耗品費について	
予算額	150,000 円
実績額	420,562 円
定款・規則集 1,000 部	110,000 円
A4 窓付き封筒 2,000 枚	145,200 円
角 2 封筒 2,000 枚	52,800 円
A4 郵便振込取扱票用紙 2,000 枚	44,000 円
プリンタインク	44,916 円
その他	
(6) バックナンバー廃棄損について	
学会誌のバックナンバーを流動資産として管理する対象を発行から 3 年間としている。	
簿価は、印刷納入価格である。	
資産管理上廃棄損を計上しているが、現物は倉庫にあり、在庫数は継続して管理している。	

4. 監査報告書

監査報告書

私は、令和7年4月18日、役員より提出された令和6年分事業報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録について総勘定元帳ならびに証憑書類の提出を求め、所定の監査を実施しました。

その結果、適正に処理されていると認められたのでここに報告します。

令和7年4月18日

一般社団法人 日本遠隔医療学会

監 事

吉井 宏文 

第 3 号議案 令和 7 (2025) 年度 (第 15 期) 事業計画

1. 学術活動

(1) 学会雑誌発行

日本遠隔医療学会雑誌	21 巻 1 号	2025 年 6 月発行	650 部程度
日本遠隔医療学会雑誌	21 巻 2 号	2025 年 10 月発行	650 部程度
日本遠隔医療学会雑誌	21 巻補刊号	2026 年 3 月発行	650 部程度

(2) 学術集会開催

第 29 回日本遠隔医療学会学術大会 (JTТА2025 NAGASAKI)

大会長	吉嶺 裕之 (社会医療法人春回会 井上病院)
会期	2025 年 10 月 24 日 (金) - 25 日 (土)
会場	長崎市・出島メッセ長崎

JTTA Spring Conference 2026

会期	2026 年 2 月 21 日 (土) - 22 日 (日)
会場	全国家電会館 (東京都文京区湯島)
企画・実施に当たっては、収支均衡を目指す。	

(3) 学術大会開催準備

第 30 回日本遠隔医療学会学術大会 (JTТА2026 YOKOHAMA)

大会長	高木 俊介 (横浜市立大学附属病院集中治療部)
会期	2026 年 11 月 7 日 (金) - 8 日 (土)
会場	横浜市・パシフィコ横浜

第 31 回日本遠隔医療学会学術大会 (JTТА2027)

2025 年 6 月 大会長・開催都市を決定する。

第 32 回日本遠隔医療学会学術大会 (JTТА2028)

2025 年度中に 大会長・開催都市を決定する。

(4) 第 2 回医療 DX 研修会

第 1 回の実績を踏まえ、医療 DX 検討会の検討結果に基づき、実施する。

実施に当たっては、収支の均衡を目指す。

(5) 他学会との共同シンポジウム

関連学会と連携し、適宜開催する。

実施に当たっては、開催の経緯、プログラム内容等の実績を記録に残す。

2. 委員会・分科会および社会貢献活動

(1) 委員会・・・年度末に活動報告を提出し、学会誌 21 巻 1 号に掲載する。

- ・編集委員会 学会雑誌 21 巻 1, 2、補刊号を発行する。
学会誌の電子出版に向けての検討を進める。
- ・普及委員会 Spring Conference 2025 開催、日本遠隔医療協会事業への協力支援。

医療 DX 研修会の企画推進を図る。

- ・社会保険委員会 内保連と連携し、遠隔医療に関連する保険適用の推進と制度の周知を図る。
- ・国際交流委員会 ASEAN との合同フォーラム開催を企画し、実現する。
ASEAN 諸国との遠隔医療に関わる連携関係を構築する
JICA 等関係機関との連携を維持する。
- ・選挙管理委員会 2025 年度幹事会員選挙業務の遂行
- ・広報委員会 本会の活動を周知できる広報体制と運用を実現する。

(2) 分科会・・・年度末に活動報告を提出し、学会誌 22 巻 1 号に掲載する。

- ・分科会の継続を確認し、その活動を支援する。
- ・分科会の活動を推進できるよう、適切な助成を実施する

(3) 医療DX検討会

- ・2025 年 3 月に実施した第 1 回研修会の実績を踏まえて、今後の計画を検討する。
- ・以降、上記計画に従って参加者を募集し、開催する。

(4) 社会貢献活動

- ・関連団体と連携し、社会の要請に対応する。
- ・第 7 回禁煙推進学術ネットワーク学術会議

日時 2025 年 10 月 4 日 10:00～16:00

会場 全国家電会館（ライブ配信あり）

共催 日本遠隔医療学会・日本公衆衛生学会・日本口腔腫瘍学会

会長 長谷川 高志（日本遠隔医療協会）

田淵 貴大（東北大学大学院医学研究科）

三浦 雅彦（東京科学大学大学院医歯学総合研究科）

3. 国際交流・広報活動

(1) ISfTeH

ISfTeH のナショナルメンバーとしてのメンバーシップを維持・継続する。

(2) ASEAN との合同フォーラム開催の検討

ASEAN、AHIN、JICA 等関係団体とのコンタクトを確立し、国際交流委員会を中心開催実現に向けて関係官庁・団体への働きかけを行い、予算確保と準備を進める。

(3) ホームページのリニューアルと運用

新ホームページを安定的に運用する。

(4) SNS の活用

X、FaceBook など SNS を活用して、ホームページによる広報活動を補完する。

(5) 各方面からの問合せへの対応

報道機関その他の問い合わせに、タイムリーに対応する。

4. 政策支援活動

内保連・禁煙推進学術ネットワークと連携して、医療保険制度に関わる活動を展開する。

5. 組織運営

(1) 2025 年幹事会員選挙の実施

- ・選挙を実施要項に従い、公正で円滑に実施し、幹事会員の半数を改選する。

(2) 定時総会

定時総会 2025 年 6 月 14 日 東京・全国家電会館

(3) 理事会

第 1 回理事会	2025 年 4 月	電磁的手段による
第 2 回理事会	2025 年 6 月	東京・全国家電会館
第 3 回理事会	2025 年 8 月	東京・全国家電会館

(4) 運営会議

第 1 回運営会議	2025 年 6 月	東京・全国家電会館
第 2 回運営会議	2025 年 8 月	東京・全国家電会館
第 3 回運営会議	2025 年 10 月	長崎・出島メッセ長崎 (JTТА2025 会場)
第 4 回運営会議	2025 年 12 月	東京・全国家電会館
第 5 回運営会議	2026 年 2 月	東京・全国家電会館 (SC2026 会場)

(5) 事務局

- ・財務・会計 健全・正確な財務会計を維持し、会費・掲載料の適正な収納に努める。
- ・会員管理 正確な名簿を維持し、会員サービスの適時提供に努める。
月次の入会審査を円滑に実施する。
- ・ホームページ タイムリーで正確な情報発信に努める。
- ・役員、委員会、分科会活動、市民活動の適切な支援に努める。
- ・ISfTeH 本部との連絡を緊密に行い、メンバーシップ (National Member) を維持する。
- ・その他 本会の運営維持に関わる事項を遅滞なく実施する

以上。

第4議案 令和7（2025）年度（第15期）予算

1. 第15期(2025年4月1日～2026年3月31日)の予算

(1) 予算編成上の要点

①以下のイベントはすべて収支均衡を目標として実施する。

- ・Spring Conference2026
- ・第2回医療DX研修会
- ・第7回禁煙推進学術ネットワーク会議

②米子基金を廃止し、残金は全額一般会計に繰り入れる。

③学術大会準備金をこれまでの50万円から150万円に引き上げる。

- ・会場予約金 100万円
- ・HP開設、ポスター製作等 50万円

(2) 収支予算書

科 目	前年度実績		当年度予算	
		円		円
【会費収入】				
幹事会員会費収入	450,000		450,000	
正会員会費収入	4,696,000		5,500,000	
学生会員会費収入	80,000		100,000	
購読会員会費収入	10,000		40,000	
賛助会員会費収入	550,000		600,000	
過年度会員会費収入	482,000	6,268,000	400,000	7,090,000
【参加費収入】				
Spring Conference 参加収入	764,400		1,200,000	
第2回医療DX研修会参加収入	203,000		1,000,000	
第7回禁煙推進学術ネットワーク会議		967,400	1,000,000	3,200,000
【学会誌事業収入】				
学会誌別冊作成	0		0	
J T T A 論文掲載料	70,000		200,000	
学会誌バックナンバー販売	9,000		60,000	
著作権使用料	825	79,825	10,000	270,000
【その他収入】				
受取利息	2,942		3,000	
		2,942		3000
経常収入合計		7,318,167		10,563,000
【事業費】				

分科会活動助成金	86,000		250,000	
医療 DX 検討会	291,720		200,000	
Spring Conference 開催費	1,217,729		1,200,000	
医療 DX 研修会開催費	838,996		1,000,000	
第7回禁煙推進学術ネットワーク会議 開催費			1,000,000	
広報活動費	1,012,732		430,000	
会議費	877,214		700,000	
国際交流費	535,584		0	
表彰費	9,983		30,000	
教育研修事業費				
機関誌印刷費	1,930,500		2,600,000	
論文別冊印刷費	0		0	
論文査読支援業務費	432,300		500,000	
論文投稿受付システム費			165,000	
学術大会支援費	0		0	
内保連年会費	200,000		200,000	
禁煙推進学術ネットワーク年会費	100,000		100,000	
学術大会準備金	800,000		2,000,000	
学術大会準備金(返還)	△ 300,000		△ 500,000	
ISfTeH 年会費	75,608	8,138,366	75,000	9,950,000
【管理費】	0			
事務局人件費	144,700		180,000	
事務局業務委託費	224,155		180,000	
倉庫借用料	66,000		66,000	
国内旅費	239,000		240,000	
運搬通信費	636,894		640,000	
手数料	78,665		80,000	
消耗品費	420,652		100,000	
税理士報酬	330,000		330,000	
雑費	34,800	2,147,866	40,000	1,856,000
	經常支 出合計	10,283,232		11,806,000
	經常収 支差額	△ 2,965,065		△ 1,243,000

第 5 議案 理事の選任

1. 予備選挙の結果

選挙管理委員会は総会に理事候補を提案するために、幹事会員による予備選挙を実施しました。

14 名の幹事会員が理事に立候補しました。これらの候補について、幹事会員による郵便投票を実施し、5 月 29 日に開票を行いました。その結果は以下の通りです。

(1) 有権者（幹事会員）総数 30 名

(2) 投票総数 26 名

(3) 開票結果

順位	得票数	氏名	所属
1	25	郡 隆之	利根中央病院
2	24	長谷川 高志	特定非営利活動法人日本遠隔医療協会
3	21	笠原 真悟	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科心臓血管外科
4	20	岸本 泰士郎	慶應義塾大学医学部 ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座
4	20	高木 俊介	横浜市立大学附属病院 集中治療部
6	19	鈴木 亮二	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科
6	19	森田 浩之	岐阜県総合医療センター膠原病科 部長
8	18	加澤 佳奈	岡山大学学術研究院保健学域 看護学分野
9	16	東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科
10	15	黒木 春郎	医療法人社団嗣業の会こどもとおとなのクリニック パウルーム
10	15	本間 聡起	埼玉医科大学医学部医学教育センター／慶應義塾大学看護医療学部
10	15	山下 巖	(医)法山会 山下診療所
13	13	吉嶺 裕之	社会医療法人春回会井上病院
14	9	近藤 博史	協立記念病院

2. 選挙管理委員会の提案

本会の定款の役員に関する規定は以下の通りです。

(役員の設置等) 第 2 4 条 当法人に、次の役員を置く。 (1) 理事 3 名以上 1 0 名以内 (2) 監事 1 名 2. 理事のうち、1 名を代表理事とし、代表理事をもって会長とする。また、2 名以内を副会長とすることができる。 3. 理事のうち 3 名以内を業務執行理事とし、そのうちの 1 名以内を専務理事、2 名以内を常務理事とすることができる。

(選任等)

第25条 理事及び監事は、社員総会の決議によって選任する。

2. 会長、副会長、専務理事及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から定める。

3. 監事は、当法人又はその子法人の理事若しくは使用人を兼ねることができない。

4. 理事のうち、理事のいずれかの1名とその配偶者又は3親等内の親族その他特別の関係にある者の合計数は、理事総数の3分の1を超えてはならない。監事についても、同様とする。

5. 他の同一の団体（公益法人を除く。）の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にある者である理事の合計数は、理事の総数の3分の1を超えてはならない。監事についても、同様とする。

今回の選挙の結果、10位に3名が並ぶこととなりました。本会の定款第24条により、理事数は10名内と規定されております。そこで、以下のように提案いたします。

(A案) 今後2年間の理事数を9名とし、今回選挙の得票数の1位から9位を理事に選任する。

(B案) 理事数を10名とするため、10位の3名について決選投票を行う。

決選投票は以下のように行います。

ア) 候補に辞退の意思を確認する。

イ) 辞退者を除く候補について、出席幹事会員は1回挙手により意思表示を行う。

ウ) 挙手人数が最も多い候補を当選とする。第1位が同数の場合には、2位を除き、ア)と

イ) の手続きを繰り返し、1名を決定する。

本総会において、まず上記2案のいずれを採用するのか決定し、(B)案を選択した場合にはその手順を進めていただきたい。

以上。